

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	楽田RAKUDA/NEXT			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～	令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21世帯	(回答者数)	16世帯
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～	令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チェック項目：適切な支援の提供 子どもの事を十分に理解して、子どもと保護者のニーズや客観的に分析された個別支援計画の作成と、それに沿った支援の提供の定着がされていること	・ガイドラインで示す5領域支援について、職員間で周知と把握に努めていながら、オーダーメイドの計画作成と提供が定着しています ・ご本人及び保護者の皆さまへの説明を適宜おこなっていることで、5領域支援の必要性について、理解してもらいながら利用していただく様子が増えています	・今後もさらなる適切な支援、よりよい支援を目指します。その為にも、絶えず職員間で模索しながら、日々の業務に努めます
2	チェック項目：保護者への説明等 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援がおこなわれていること	・個別支援計画の作成時期に関しては、必ず保護者との面談を個別に設けています ・子どもの行動等に関する相談事に加えて、学校生活や卒業後の進路、他事業所の併用に関する事などについて、相談しやすい環境に努めながら個別の支援をおこなっています	・面談等で抽出された課題等に関して、職員間で共有していくことはもちろんですが、状況によっては相談支援事業所の相談支援専門員をはじめとする、支援関係の方々との連携を図りながら、各々の相談事における解決に向けた手立てを模索して実践していく事に努めます
3	チェック項目：非常時等の対応 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていること	・職員達には法人(事業所)が策定した各種のマニュアルを熟知して、定期的な研修や訓練に取り組んでもらっています ・特に非常災害の発生時における定期的な防災訓練等については、毎月必ず実施をして、職員だけでなく、活動の一環で子ども達と共にこない、防災への意識を高める取り組みに努めています	・非常時の対応はどれも大切です。例えば、感染症対策では子ども達と共に、日頃から手洗いの仕方や咳エチケットの実施をすることで、まん延防止等に努めていく取り組みを継続して成熟させていきたいと考えます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	チェック項目：環境：体制整備 生活空間は、子どもに分かり易く構造化された環境になっているかどうか	・各居室を分ける間仕切り等がない空間もある為、一部の子ども達にとっては「何をする部屋なのか」分かり易く配慮された環境まで到達されていない現状が要因と考えられます	・パーテーションで区切る事や、居室のドアに「○○室」と表記して、各自が混乱を招く事の軽減を図るための環境整備に努めます
2	チェック項目：適切な支援の提供 地域の他の子どもと活動する機会があるかどうか	・中高生の世代の児童を主に受け入れている為、児童館や放課後児童クラブとの交流に限って考えると、年齢的に合わない部分が出てくるというのが要因として挙げられます	・関係各所へ相談をして、地域の同世代との交流の場があるのか、情報を収集していきます ・個人情報保護の観点に注意を払いながら、地域の中学校や高等学校との連携を図り、生徒間による交流の機会を模索していきます ・自立支援連携会議の「子ども部会」に在籍する放課後等デイサービス事業所との交流を模索していきます
3	チェック項目：保護者への説明等 父母会の活動の支援や、保護者会などの開催があるかどうか	・会の開催に関しては、保護者の方々が、普段の生活における子育てや就労等によって、時間を調節する事が困難な場合があります ・(不定期で)会を設ける事もありますが、内容等が成熟されず、気が付けば凍結してしまいます	・保護者アンケートを取って、どのような内容(日時や頻度、取り組む事)であれば参加しやすいのか把握します ・行事ごと(例:市民祭の出店の準備等)にリンクして、保護者の皆様にも協力を仰ぎ、そこでの時間を交流の場としても提供します

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 楽田RAKUDA/NEXT

公表日 令和7年 3月 28日

利用児童数 21名

回収数 16名

		チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		定員10名に対して十分なスペースを確保しています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	81%	13%	0%	6%		職員の配置基準を満たして運営しています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	50%	25%	0%	25%		活動や食事をするスペース、あるいは個室で落ち着ける部屋を用意する等、環境整備に努めて分かり易く示しています。また、トイや階段には手すりや設置してあります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	81%	6%	0%	13%		快適な空間で過ごしてもらえよう心がけて支援しています
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		在籍する作業療法士による「専門的支援実施」を提供しています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	75%	19%	0%	6%		子どもや保護者の意見を聞きながら、支援プログラムを作成しています。定期的な見直しにも尽力します
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		アセスメントやフェイスシートを活用しながら、個別支援計画の作成に取りかかっています
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	81%	13%	0%	6%		個別支援計画に「本人支援」「家族支援」「移行支援」を必ず記載して説明をし、実践しています
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	5領域支援を考慮した計画を立ててもらい、助かります	5領域支援を念頭にした支援を提供しています
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	81%	6%	0%	13%		調理や製作、木工など、手先を使った活動を提供しています。また、外出の時間を設け、社会参加を繰り交ぜた支援に努めています
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	25%	6%	31%	38%		現在は交流の機会は多くありません。今後の課題として検討していきます
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	88%	12%	0%	0%		契約時はもちろん、半年に一度の面談時に、改めて説明しています
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	94%	0%	0%	6%		計画に関しては必ず対面で説明をして、署名いただいています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	38%	6%	31%	25%		必要な外部の情報や研修のお知らせは適宜、発信しています。弊事業所での実施については、今後の検討課題としています
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		適宜、面談などで共有しています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		適宜、面談などで共有しています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		常に子ども達やご家族の思いに寄り添った支援を心がけています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	13%	19%	31%	37%		現在は保護者会等の開催をしていません。今後、保護者の方の意向をお伺いしていきます
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	81%	6%	0%	13%		舌情ではありませんが、ご意見やご感想を頂くことがあります。改善策を考え迅速かつ適切に対応していきます	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	88%	12%	0%	0%	連絡帳やメール、電話で意思の疎通や情報伝達をしています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	82%	6%	6%	6%	「NEXT NEWS」を毎月発行し、日々の活動予定や活動の様子、お知らせを伝えています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	88%	6%	0%	6%	個人情報のファイルは鍵付きのキャビネットに保管しています。法令遵守マニュアルで方針を定め、個人情報保護規定でその詳細を定めています。ホームページには個人情報保護方針を掲載し、その内容を示しています。他機関とのやり取りでやむを得ず、情報を共有する場合は同意書の内容に従い、必要最小限で行っています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	94%	0%	0%	6%	各自のマニュアル策定に対する説明と、実施した訓練等についてお伝えしています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	94%	0%	6%	0%	毎月、防災訓練を行っています。半年に一度は消防署から「水消火器」を借りて、放水体験をおこなっています。また、避難所までの経路の確認をして、そこまでの模擬避難を繰り返し実施しています。その様子を「NEXT NEWS」に載せるなどして保護者の方に周知しています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	安全面を十分に考慮した上で、支援する事を徹底しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	事故発生時のマニュアルを職員間で共有して、速やかに対応しています。詳細に関しても本人やご家庭に、速やかにお伝えしています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	今後も通所している児童が皆、笑顔でいられるように努めて行きます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	94%	0%	0%	6%	今後も経営理念にもあります「お子さんの心に寄り添うこと」を心がけ、皆様に喜んでいただけるよう職員一同努めていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	94%	6%	0%	0%	満足しています。これからもよろしくお願ひします 今後も誠実さをもって福祉サービスを展開し、より良い支援をしていきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		楽田RAKUDA/NEXT				公表日	令和7年 3月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	利用定員10名に対して、法令基準より、ゆとりのあるスペースを確保しています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	法令基準より多い(子ども1.5~2人:職員1名)人数で、職員は資格(社会福祉士・保育士・児童指導員・作業療法士)を持っています	適切な配置で支援を提供します	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17%	83%	トイレや階段には、手すりを設置しています	玄関に少し段差がある為、今後も検討課題にしていますが、歩行に多少の介助を必要とするお子さんには、玄関の出入り時には必ず、職員が横につき添っています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	いわゆる「場所の構造化」に配慮し、ゆとりあるスペースと分かり易い部屋割りにしています	今後も一層、分かり易い空間作り、快適な空間作りに努めます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83%	17%	個室や静かに過ごせる空間を設けており、お子さんの状態によってはそこで過ごしてもらうように環境整備しています	適宜、必要に応じて環境整備していきます	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	83%	17%	全体の職員会議を定期的で開催して、業務改善に繋げています	適切に対応していきます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	ご意向の書かれた評価表を活用して、日々の業務改善に繋げています	評価が低いと思われる事柄が生じた際は、速やかに改善するようにします	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	日々の打ち合わせに加えて適宜の職員会議を開催して、各職員から意見を出し合い、業務の把握と周知を職員間でおこない、業務改善に繋げています	適切に対応していきます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33%	67%	現在は第三者による外部評価をおこなっていません	今後を検討していきます	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人内での研修はもちろん、キャリアパス研修をはじめとする外部研修を受講する機会を、積極的に確保しています。また、研修報告書の作成と回覧をおこない、その内容等を職員間で共有し、日々の支援に活かせるようにしています	より多くの研修の機会を確保できるように、引き続き努めて行きます	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	83%	17%	子どもや保護者の意見を聞きながら、支援プログラムを作成、公表しています	定期的な見直しに尽力して、よりよいプログラムを目指します	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントやフェイスシートを活用しながら、個別支援計画の作成に取り組んでいます	アセスメントの内容については、常にバージョンアップを試みていきます	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員間でモニタリングや、個別支援計画作成にかかる会議の開催を実施しています	関係者が集まって実施する、サービス担当者会議の開催を活発におこなっていきます	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	必ず職員間で共有して、それに沿った支援を実施しています	適切に対応していきます	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	33%	S-M社会生活能力検査を使用し、状況を把握しています	新しく業務に臨んだ職員に対しても、周知していくように努めます	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	ガイドラインに定めている「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」のねらいや支援内容を考慮して、お子さんとご家族への支援を、関係者と連携しながら取り組んでいます	今後も積極的に支援に努めます	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	定例会議で活動プログラムについて、話し合っ決めていきます	より良いプログラムの作成をします	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	ガイドラインに沿って、プログラムが固定化しないように努めています	より良いプログラムの作成をします
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さんの様子をその都度気かけながら支援を組み立てています	適切に対応していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	当日のサービス提供前の時間に打ち合わせをしています。その日の支援内容と役割分担等を確認しています	打ち合わせの記録をファイルに綴じて、当日に他業務で打ち合わせできなかった職員に周知しています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了後に送迎があるため、送迎のない職員は終了後に、送迎職員は翌日に振り返りを行いケース記録を作成、ケース記録の回覧・翌日の打ち合わせで気づいた点等を共有しています	当日の支援終了の前に、その日の振り返りや翌日の動きについて、可能な限り児童発達支援管理責任者が口頭で各職員に確認や伝達をして、記録にまとめておき、翌日に共有できるようにしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	活動の記録、個々のケース記録をとり、それをもとに支援の検証・改善につなげています	日々の記録の重要性を職員間で共有しながら、記録をとっていきます
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6ヶ月ごとにモニタリングを行い計画の見直しの必要性を判断しています	少なくとも半年に一度は職員が集まって評価をしています。今後は、開催の回数を必要に応じておこないます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	ガイドラインにある4つの基本活動をふまえて、季節の行事等を取り入れる等、工夫して支援する事に努めています	職員達がガイドラインを熟知している状態で支援に臨んでいけるように努めます
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	お子さんの気持ちに常に寄り添い、出来る限り思いが実現できるように努めています	「意思表明支援」「意思決定支援」の大切さを職員間で共有して、今後もより良い支援に努めます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	サービス担当者会議には、必ず児童発達支援管理責任者が参加して、関係支援者と情報の共有や連携に努めています	今後もケースごとの連携会議に積極的に参画します
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	関係各所との連携を必要に応じておこなっています	必要に応じて速やかな連携を図ります
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校と直接、または保護者を通して情報の共有、連絡調整を行っています	ケースによっては、学校に何って、多角的な支援に努めています
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	支援内容や様子など情報共有と相互理解に努めています	当事業所は主に中高生の児童が利用する為、就学前の保育所等との情報共有に関しては、年齢等による期間が空く為、必要に応じておこなっています
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	地域の相談支援専門員や、進路先の事業所などに、必要に応じて情報提供と共有を図っています	個人情報の取扱いに留意しながら、積極的におこないます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	同じ法人内にある児童発達支援センターと連携して研修など行っています	「療育等支援事業」の研修を、当法人が主催で令和6年11月に実施しました
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	公園等を利用する際に障害のない子どもと一緒に遊ぶ機会があります	放課後児童クラブとの交流や、障害のない子どもとの活動がどのような形でできるか検討していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	尾張旭市の自立支援協議会（こども部会）に参加しています	自立支援協議会に参加していること、またその内容を保護者や職員にその都度お伝えして周知に努めています
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	半年に一度の面談のほか、必要に応じて面談を行っています。また送迎の際や連絡帳などで保護者と情報共有をしています	引き続き、保護者とのつながりを大事にしていきます
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	個々のケースに応じて保護者支援を行っています。ペアレント・トレーニング等の支援は行っていません。外部の講演会や研修のお知らせをお伝えさせて頂くことはあります	情報提供のみにとどまらず、積極的な研修の機会などの実現に向けて、今後を検討します
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に契約書、重要事項説明書を用いて丁寧に説明させて頂いています	引き続き、丁寧な説明に努めます
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	定期的な面談を設けて、意向を確認しています	「意思決定権」の大切さを意識して、本人や家族の意向の確認に努めます
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	必ず対面をして計画の説明をおこない、同意を得て署名をいただいています	引き続き、丁寧な説明に努めます



保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じ、電話や面談で相談をお受けしています	必要に応じて速やかに対応します
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	保護者会等は開催していません。行事等で保護者が集まる機会を作っています	保護者会や保護者参加の活動については保護者の意向を伺い検討します
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情担当者と解決責任者がおり、迅速かつ適切に対応しています	速やかな対応をします
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月機関紙を発行し、活動予定や行った活動の様子やお知らせをお伝えしています。ホームページにも活動予定やお知らせなど載せています	内容豊富な情報を発信し続けます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報のファイルは鍵付きのキャビネットに保管しています。法令遵守マニュアルで大枠を定め、個人情報保護規定でその詳細を定めています。ホームページには個人情報保護方針を掲載し、その内容を示しています。他機関とのやり取りでやむを得ず情報を共有する場合は、同意書の内容に従い必要最小限で行っています	現状の状態を維持しながら、さらなる管理を徹底します
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	子どもに対しては短く、簡潔な言葉で伝えるようにしています。また絵カードなどを使いわかりやすく伝えるよう配慮しています。保護者とは連絡帳やメール、電話で意思の疎通や情報伝達のための配慮をしています	自分の意思を何らかの形で表示する事は、ほとんどの子どもの課題でもあるため、活動の中でも力を入れて支援したいと考えています
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%	年に数回の保育実習のほか、毎年医学部、薬学部、看護学部の学生の地域参加型学習や社会医学実習の受け入れをしています	どのような状況下であっても、地域に開かれた事業運営をしていけるように検討していきます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアルを策定しています。職員は会議の際に見直しや理解を深めています。保護者には面談の際にお知らせしています	例えば「感染症対応マニュアル」をもとに、消毒や手洗い、マスクの着用など、日々の感染症対策に力を入れている事を実践し、職員や保護者の方々と共有します
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	年に一回以上のBCP計画にかかる法人研修や訓練を実施して、職員間で周知しています。計画の策定はもちろん、必要に応じて改訂しています	引き続き、各職員がBCPへの意識を一層、高く持って取り組んでいる研修や訓練を開催していきます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アセスメントやフェイスシートを活用しながら、保護者等への確認をしています	ケースごとに服薬等の変更があった場合は速やかにお知らせ頂くように、保護者等にお伝えしていく事を強化していきます
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	現在は食物アレルギーのあるお子さんの利用はありませんが、医師の指示書に基づいて対応する胸は、保護者等にお伝えしています	必要に応じて速やかに対応します
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	計画の作成はもちろん、それにかかる研修や訓練の機会を適宜設けています	抽出された課題については、出来る限り実施するように努めて行きます
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	面談等で事業所内外での取り組みを説明しています	気になった事案等が発生した場合は、速やかに情報共有をして、職員や保護者等への周知と改善について検討していく事をおこないます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	発生した事案に対しては必ず、報告書の作成しており、教訓や対応策を職員間で協議して、再発防止に努めています	必要に応じて速やかに対応します
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に職員は虐待のセルフチェックを行い、必要に応じて面談を行っています。外部研修に参加の機会を作っています。「虐待防止及び身体拘束等の適正化委員会」を設置して、職員全体で周知していく取り組みをしています	法人の定める倫理要綱を考察する機会を定期的に設け、職員全員が常に念頭に置いて支援するように努めます
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	「虐待防止及び身体拘束等の適正化委員会」が中心となって、必要と判断したケースについては、お子さんや保護者へ事前に説明をし、計画に記載するようにしています	取り組みに関しては職種を問わず、すべての法人職員への周知に努めます	